

社会保障を充実させると、格差が縮小するが、財源となる税金の負担が重くなるといったことが影響し、経済成長を妨げるという意見を耳にします。「大きな政府」批判などよく出てくる主張です。一方、適度な格差を是正しないと、かえって成長を妨げます。理由はこうです。

低所得者ほど（高所得者が下しますし、生産規模の拡大につながる投資も進みます。もし、格

ニュースを読み解く

やさしい経済学

第3章 社会保障の考え方

慶應義塾大学教授

土居 文朗

9

差が拡大し低所得者層の人数が多くなれば、選挙を通じて低所得者の主張が反映されやすくなります。高所得者の負担をより重くするような累進的な税制が実現する可能性があります。

理由はこうです。

低所得者ほど（高所得者が

下しますし、生産規模の拡大

につながる投資も進みませ

ます。もし、格

社会保障には、所得の多寡を問わず、保険の仕組みで、病気や失業など生活にまつわるリスクを回避する機能があります。また、所得格差を是正する働きもあります。これ

を有意義に活用することが、これから必要なのです。

社会保障を維持するには財源確保が欠かせません。国民の誰かの負担なしに給付はできないと肝に銘じましょう。

（次回からは「経済成長とは」を掲載します）

経済成長を妨げない

べ、経済学者の提案は弱者に厳しいと思われかちです。でも、真に支援すべき人を助けるため、自立できる人までは支援しないことで、国民に過度な負担をさせないという視点からの知恵なのです。

経済成長を妨げない基盤づくりのためにも重要なといえま

す。格差是正ばかりに熱心になりすぎると、経済成長がおろそかになります。しかし、

格差を放置しても、逆に経

成長が妨げられかねません。

財政立て直しのため、医療

の窓口負担を引き上げるな

ど、高所得者の労働意欲が低

くなるでしょう。そうなる

と、高所得者の労働意欲が低

くなるでしょう。そうなる

</div